

古川レポート

第14号
2001年9月20日発行
古川レポート編集部
〒241-0825
横浜市旭区中希望が丘
252-50
TEL391-4000/FAX366-9700
naoki@furukawa2002.com



古川なおきのメッセージ(九月)

猛暑も終わりやつとすこし易くなりましたが皆様お元気でしょうか。九月は横浜市会平成十三年度第三回定例会(本会議)が開かれており、本年度は私も議会運営委員会の委員に任せられましたので、一層気を引き締めて活動しているところです。

さて、先日ある市民の方から「鶴ヶ峰駅のエスカレーターの設置に関して自治会では要望行動をしているのに、古川さんは何も行動していない」とご指摘をいただきました。以前から鶴ヶ峰駅にエスカレーターを設置してほしいという要望は多くの方からいただいていたので、私は何度も相模鉄道本社や横浜市役所、旭区役所へ出向き要望していました。各機関からは「すぐに設置したいが現状では階段が狭いことと鶴ヶ峰駅南口再開発が平成十八年を目途に行われ鶴ヶ峰駅は再開発ビルとして駅ビルになるのでその時にエスカレーターを設置したい」との回答がありました。今後、私は鶴ヶ峰駅南口再開発においてエスカレーターを設置できるように引き続き働きかけると同時に、旭区や横浜市内の施設においてもバリアフリー化が図られるよう、活動していきたいと思っております。

今回のことでは、皆様の要望に対して回答が十分に伝わっていなかったことを私自身が省みて、今後の活動の教訓にしなければならぬと思われました。ぜひ皆様のご意見をお待ちしております。

政治家は多くの方から要望をいただき行政に伝え、働きかけ、実現できるようにすることが

仕事のように思われています。

しかし、それだけが政治家の仕事ではないと私は思っています。未来に向け様々なことを提案していくことが本来の政治家の仕事であり、市議会が行政のチェック機関であるならば税金の無駄を省くことができるように行政評価を導入したり、特殊法人を廃止したり、民間にできる仕事は民間に任せるように行政に働きかけることが、今、最も重要な仕事だと思えます。

国会では小泉総理が改革に取り組んでいます、横浜市も同じです。私は「この道路、この施設は私が造りました。」というだけでなく、「私が提案したことによって無駄な経費を押さえ税金を有効活用することができました」と自信を持って言えるように、政策提案を中心とした活動をしていきたいと考えています。

米国同時テロによる犠牲者、並びにそのご家族の方々に対し慎んで哀悼の意を表します。被害者の方の人命救助と復旧作業に全力で取り組むとともに、日本と世界各国政府のテロ根絶に向けた徹底的な対策と世界平和の実現を望みます。九月十四日の横浜市会本会議でも同様の主旨で、「米国における同時多発テロ事件に関する決議」を行なったことをご報告申し上げます。

古川なおきプロフィール

naoki@furukawa2002.com

昭和43年8月31日横浜生れ33才
県立希望ヶ丘高校・明治大学卒業
横浜銀行勤務後、議員秘書となる
平成7年横浜市議員初当選(26才)
平成13年度総務企画財政常任委員

委員
平成13年交通問題対策特別委員

委員長
自民党横浜市支部連合会青年局

幹事長
希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会評議員

明治大学交友会横浜支部会員
横浜青年会議所(IC)

旭区スポーツダンス協会顧問
旭区商店会連合会顧問

旭区サッカー協会顧問
日本動物福祉協会横浜支部支部長

鶴ヶ峰商店街協同組合顧問
好物:カレー・サンマー麵

特技:街頭演説・結婚式等の司会
愛車:コルサ

古川なおきのホームページもぜひご覧下さい! ご意見もこちらからメールください!

www.furukawa2002.com